## 志々を元気にする会主催の「志々暮 志々暮らし ものづくり交流会

8.8

神楽舞II飯南

町内外から約250人が来場

地域のつながりを大切に

で行われました。

流を深めました。 使った風鈴づくりを体験しながら、交 ら約25名が参加。小物入れや押し花をることを目的に開催され、地区内外か 移住者や様々な年代の住民が交流す

材を支えたり、声をかけあったり協力設置するベンチも作製。組み立てる木として親しまれている桜広場(八神)に して作業を進めていました。 グラウンドゴルフ会場や、憩いの場

楽甲子園で披露した「恵比寿」を披露したほ域ラボ神楽愛好会が、7月に開催された神

か、邇摩高校など5団体が自慢の演目を披

ユーモラスな演出が子どもたちに人気の「恵比寿」

する場を作りたいと企画。飯南高校生命地公演機会が少ない高校生に、神楽を披露

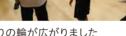
環境改善センターで開催されました。

完成したベンチは桜広場に設置しています

露しました。

人口づくりのためにイベントを続けたい」とは「今後も後継者育成や、神楽を通した関係愛好会〇B会長の中野愛翔さん(大田市)

### 大きな踊りの輪が広がりました



どを使って手作りのお化け屋敷を設営。参加

ホールに、展示パネルやビニールシートな

の館」が開催されました。

ふぇふ実行委員会主催のお化け屋敷「ふぇふふれあいホールみせんで、とんばら探険隊

子どもが泣き出す恐怖体験

8.23⊕

者は真っ暗な会場を、恐る恐る進みました。

ました。

ルではよさこいや盆踊りが行

かかわらず、300人以上が来場し

を出店。あいにくの雨にも

ースや子ども向け

プと高校生

有志が、飲食ブースや一が企画し、地域のグルー

なの広場夏祭り」が開催されました。

来島交流センタ

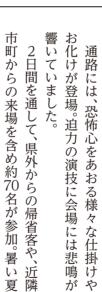
を会場に、「みん

交流と伝統文化を楽しむ

みんなの広場夏祭り

「みんなの広場夏祭り実行委員会」

趣向を凝らしたお化けたちが登場



盆踊りとなりました。
高生が踊りの中心となり、賑やかな事前に盆踊りの練習を積んだ小中われ、お祭りを盛り上げました。

市町からの来場を含め約70名が参加。暑い夏2日間を通して、県外からの帰省客や、近隣



## 避難所生活を体験

れました。 プ」が赤名農村環境改善センターで開催さ 災害時の命の守り方を学ぶ「防災キャン

プライバシースペースを作り、一晩を過ご と保護者は、災害時に避難したことを想定 し活動。段ボールなどで自分たちの過ごす しました。

動力や判断力を養いました。煙体験も行い、災害時に命を 、災害時に命を守るための行

り上がり、楽しく過ごす時間となりま地域住民が交流しながらにぎやかに盛最後まで公民館まつりを満喫。多くのや遊び場コーナーが始まり、来場者は楽しんだ後は「さつき縁日」として屋台

大切」と話していました。

太鼓を披露

Us William Wil



参加した赤名小、赤来中の児童生徒り

の演劇など、地域住民によるさまざまクラブの合唱や手話サークル、公民館志々小児童の合唱を皮切りに、老人

な発表が行われました。

盛りだくさんのステ

ージイベントを

でマム氏館まつり

民館まつり」が開催されました。

さつき会館を会場に「第28回志々公

地域のみんなが主役

志々公民館まつり

飯南消防署による水消火器体験や火災

さつき保育所児童が大きな掛け声とともに

参加した生徒は「みんなで協力する事が





防災備品の使い方を学びました





じられる機会となりました。体育大会。地域のつながりの強さが感ぶりに言葉を交わす機会となっている

らは選手に向けて大きな声援が送らしなど、ユニークな全り種目。応援席か

3チームに分かれ得点を競いました。

内容は、ボール運びやスリッパ飛ば

・20人が参加。塩谷、井戸谷、畑田の幼児からお年寄りまで、地域住民約

大会」が行われました。

谷笑楽校で「第72回谷地区町民体育

チームで得点を競う

第72回谷地区町民体育大会

れ、温かな雰囲気で競技が進みました。

世代を超えて大きな声援が響いていました

る標高1014メー

普段なかなか会わない人とも、久し

日美展入選作品「神在月」

### 水墨画で表現

8.31

# 琴弾山神社を描き日美展入賞

都)の作品「神在月」が入選を受賞しました 全国公募第8回日美展水墨画部門で、水墨画家 前田伸枝さん (東京

想。墨の濃淡や技法を駆使し、作品を完成させま 前田さんは、昨年11月に、友人が琴引山へ登山 した際の写真を見て着



9.6⊕ ~7⊕